

拾って、描いて、
海ごみを減らそう！

みんなの うみご^{みい}me コンテスト

in イトーヨーカドー大船店

拾っても、拾っても、なかなか減らない海ごみ。
海ごみのおよそ8割が、街で発生したプラスチック
ごみ等が河川を伝って海に流出したものだと言
われています。その裏側には「ごみ」自体を生
み出してしまっている私たちの社会で何が
起きているのか、私たち自身がそこに向き合
っていないという現実があります。

『うみごme』は、身近に落ちているごみから
みえてくる私たちの誰しもがもつごみにつな
がる気持ちを可視化することで、海ごみを生
み出している社会に向き合うためのプロ
ジェクトです。

海のこと、暮らしのこと、自分のこと。あなた
の中の「うみごme」、ぜひご応募ください。

応募期間 >>>

2026

1.19 月曜日 – **2.21** 土曜日

\ 同時開催！ /

入場無料、予約不要

みんなのうみごme展

2026

2.21 土曜日 時間 | 10:00-15:00
場所 | イトーヨーカドー大船店

「2050年の海では、魚よりもごみのほうが多くなるかもしれない*」。

こんな話を聞いたことはありますか？

海のごみの中で、とくに問題になっているのがプラスチックごみです。プラスチックはとても軽く、風でとばされやすいのが特徴で、分解されるまでに長い時間がかかります。海のごみの半分以上がプラスチックだと言われており、毎年、2〜6万トンは日本から出たものだと考えられています*。海をただようごみは、魚やウミガメ、海鳥など、たくさんの生きものをきずつけ、そして、その影響は少しずつ私たちの暮らしにも近づいてきているのです。

では、川や浜、海にあるごみは、いったいどこから来るのでしょうか？

実は、その8割以上は、街で捨てられたごみが雨や水といっしょに流れ、川を通して海まで来たものだと言われています*。

つまり、海のごみの問題は、街のごみの問題なのです。



街に落ちているごみをよく見てみると、こんな声が聞こえてきます。

「風でとばされちゃった」「歩いていたら、ポケットから落ちちゃった」「近くにゴミ箱がなかったんだ」…。

そんな、私たちがつついしてしまう無自覚な行動や気持ちをキャラクターにしたのが「うみごme (みい)」です。落ちているごみを調べていくと、15種類のごみにつながる気持ちがあることが分かってきました (右図)。そして、その数は増え続けています。

このコンテストではそれぞれの「うみごme」を募集しています。毎日の暮らしをふり返りながら、色や形、名前など、あなたが感じたことを表現してください。絵が上手かどうかは関係ありません。大切なのは、海ごみ問題を「自分の問題」にすること。その一歩を、いっしょにふみ出ませんか？

* 参考：日本財団 WEB サイト 日本財団ジャーナル「増え続ける海洋ごみ」特集記事より

応募期間 2026年1月19日(月)から2026年2月21日(土)

対象 鎌倉市・藤沢市・横浜市にお住まいの方(大人も子どももOK!)

応募方法 以下2つの方法のいずれかにてご応募ください。

① 本応募用紙を使用し、WEBフォームより事前応募

② イトーヨーカドー大船店で開催のうみごme展(2/21)にて店頭より応募

賞(予定) みんなのうみごme大賞…1点

(副賞：サカナヤマルカマ海の未来につながるお買い物チケット1万円分)

イトーヨーカドー賞…1点

(副賞：セブンプレミアム詰め合わせ)

公表方法 後日WEBページにて受賞作品を掲示。

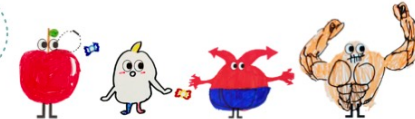
ご応募いただいた方にはメールにてご連絡します(2026年3月中を予定)

注意事項 応募フォーム記載の注意事項をご確認の上、ご応募ください



参加方法

過去の作品例



STEP 1 身近なごみをひろろう



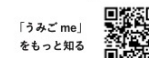
まずは、道ばたや公園、海辺や川辺など、日常の中で見つけた身近なごみをひろってみましょう。どんな場所に、どんなごみが落ちていたのかを観察することが大切です。(水辺に行くときには大人と一緒にいきましょう)

STEP 2 ごみを捨てた人の気持ちで分類する



次に、そのごみを「なぜ捨てられたのか」という視点で見つめます。面倒だった、つい忘れた、急いでいた—ごみを捨てた人の気持ちになって想像し、感情や行動の理由ごとに以下の「うみごme」で分類してみましょう。

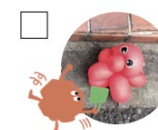
拾ったうみごmeにチェックをつけよう!



ごみのあふれに集まる
ひきよせられごみ



ゴミ箱がみつからない
買わせっぱなしごみ



気づいたときにはもうおそい
落とし物ごみ



ゴミ箱からあふれてる
つめごみごみ



看板も三角コーンもごみになる
うっかりごみ



草がびにひそむ
かくしごみ



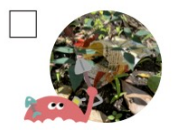
待っている間に出てきちゃう
まちぼうけごみ



さくっと食べて捨てていく
サクめしごみ



あれ? カサ、どこいった?
雨の日ごみ



え? 分解されないの?
土にかえる? ごみ



お供物のそのさきに
おいのりごみ



コーヒー、タバコ、おかしまで
ごほうびごみ



みんなですればこわくない
むれごみ



知らないつもりで言い逃れ
おとぼけごみ



人工芝やタイヤもなんて!
知らずごみ

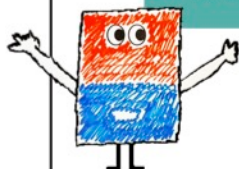
応募期間 2026.1.19月-2.21土

STEP 3 自分のくらしをふりかえる



最後に、自分のくらしをふりかえてみましょう。つつい使いすぎているものは？減らせるものは？気づかいうちにゴミになっているものは？お別れできそうな自分に思い当たる「ゴミにつながる気持ち」を自由に描いてください。上手に描く必要はありません。気づきをかたちにしてみましょう。

応募用紙
はこちら



他の作品例を
チェック！



描くときのコツ

- ・鉛筆よりペンがオススメ
- ・クレヨン、カラーペンなどで色付けするとカラフル！

撮影のポイント



- ・枠がうつるようにとろう
- ・明るい場所でとろう
- ・余計なものはどかさう（消しごむのカスなど）
- ・タテ向きにとろう
- ・影が落ちないように注意しよう

わたし
私がサヨナラするのは

ごみ

↓↓

どんなごみ？

どうやってお別れする？

あなたの年齢

あなたが住んでいる都道府県

STEP 4 応募して、共有する



描いたうみご me をみんなで共有しましょう。あなたの気づきが誰かの行動や意識をかえることにつながるかもしれません。WEB フォームからの事前応募、もしくは、2月21日開催のうみご me 展で店頭からも応募できます。

応募フォーム



入場無料、予約不要！

みんなのうみご me 展 2.21

土曜日

時間 | 10:00-15:00

場所 | イトーヨーカドー大船店

(会場：鎌倉市大船 6-1-1 1F エレベーター前)

問い合わせ

イシュープラスデザイン

info@issueplusdesign.jp (担当：白木)

本プロジェクトは、株式会社イトーヨーカ堂からのご寄付を原資として、日本財団「海と日本プロジェクト」を通じた支援を受け、issue+design が実施するイベントです。本件へのお問い合わせは、issue+design へお願いいたします。